

# 週刊 タバコの正体

## 第3話

ニコチン依存症になってしまうと、お金をかけてタバコを買い、その煙を吸いこんで自分の命を縮めてしまいます。まったく馬鹿げている行動なのですが、「理屈ではわかっているけど、どうしてもタバコを我慢できない」という人が、ニコチン依存症なのです。

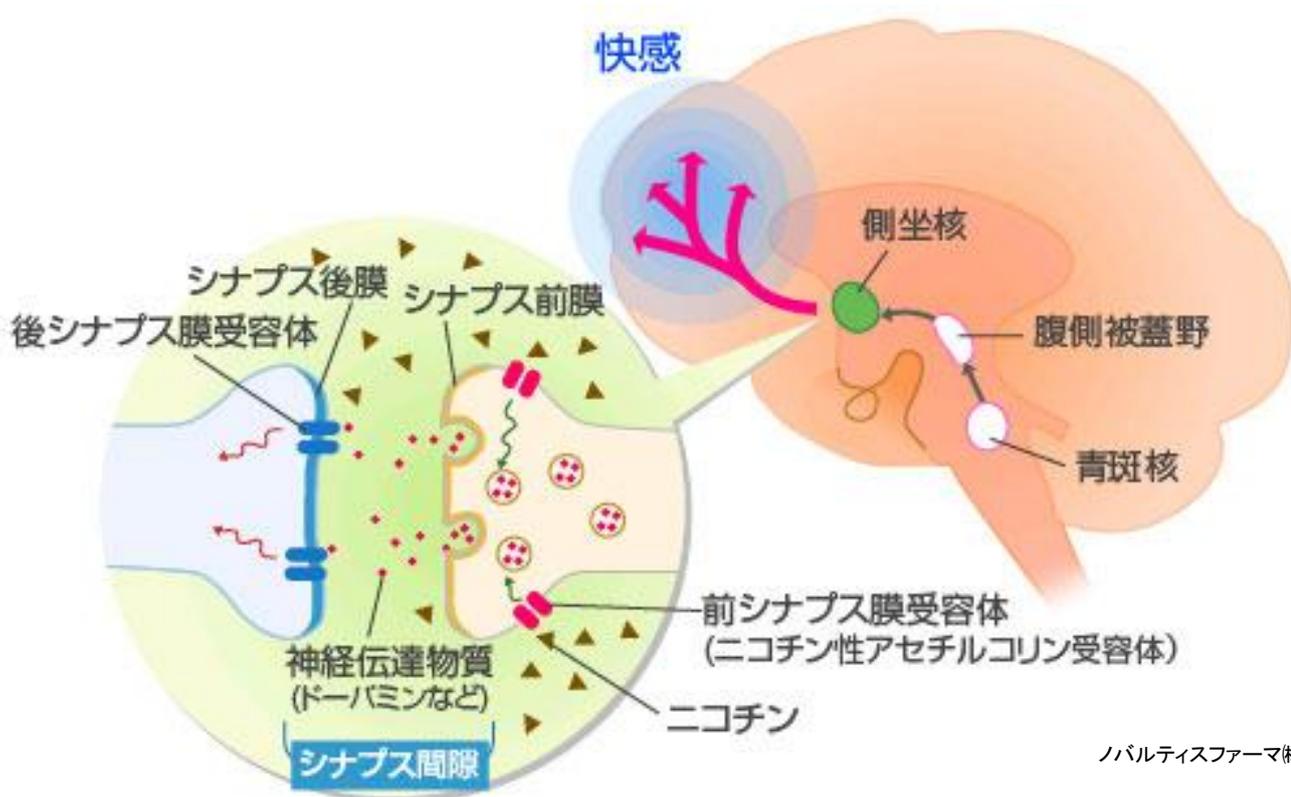
「わかっているけど・・・やめられない」のはどうしてなのでしょう？

それは、「理屈ではわかっている」という理性が及ばない生理的に深いところで、ニコチンに依存してしまっているからなのです。つまり自分の生命を維持するのに必要な、“息をする”とか“食事をする”とか“睡眠をとる”とか、と同じレベルで“タバコを吸う”病気になっているという事です。

下の図はその仕組みを示しています。なにやら医学的な難しい用語が並んでいますが、要するに脳の深いところでニコチンがなければ快感を感じられなくなってしまうのです。

生命を維持するために“息を吸う”のと、命を縮める事になる“タバコを吸う”のが同時に行われているなんて、本当に「なにやってんの」って言いたいですよね。

産業デザイン科 奥田 恭久



ノバルティスファーマ株式会社HPから